

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第10号 令和3年3月31日

東京都産業教育振興会事務局では、年2回発行している会報「東京の産業と教育」を補うため、不定期の発行ではありますが、この「東京の産業と教育（電子版）」を発行しています。どうぞよろしくお願いたします。

☆今日のコンテンツ

【1】 専門高校と都内商工会議所役員企業との交流会の報告

【2】 令和3年度会報電子版について

☆

☆【1】 専門高校と都内商工会議所役員企業との交流会の報告

3月26日(金)、都立練馬工業高校を会場として上記の交流会が開催されました。この交流会は、東京都産業教育振興会が東京商工会議所と連携し、多摩地域の商工会議所や東京都教育委員会とも取組を一にしながら、企業と学校との連携の深化を図るために開催したものです。

交流会に先立ち、校内の施設見学が行われました。都立練馬工業高校はキャリア技術科といって工業の基礎技術を幅広く体験的に学ぶことからスタートする工業高校です。校長先生、副校長先生の説明を受けながら木工、鋳造、工作機械、設備工事、自動車整備、デザインなどの実習室を見学しました。

会場校となった都立練馬工業高校については、[学校のホームページ](#)をご覧ください。



交流会は、東京都産業教育振興会会長西澤 宏繁の挨拶から始まり以下の内容で進められました。

【第1部】事例紹介

(1)高校が取り組むキャリア教育について

練馬工業高校 統括校長 守屋 文俊 氏

(2)企業が取り組む就職支援イベントおよび産業人材の育成について

彌生ゲーゼ工業株式会社 代表取締役社長 細田 健 氏

富士セイラ株式会社 代表取締役社長 高須 俊行 氏

【第2部】ブロック別討議

城北ブロック、城東ブロック、城南ブロック、城西ブロック、多摩ブロックの4ブロックに分かれ、「若者の活躍躍進に向けた地域における企業と高校の連携について」をテーマとして討議しました。

ブロック別討議では、大手企業のブランドに負けない特別な技術や若手社員の能力育成の紹介が地元企業から、学校から就業に向けた教育活動の紹介がなされました。

企業と学校のリアルを共有することで、生徒が志をもって就職することができるための情報共有の良い機会となりました。

東京都産業教育振興会としても、引き続き、東京商工会議所などとの連携を深め、産業教育の更なる振興を図っていきたいと考えます。

こうした活動に対しても、工業高校だけでなく、様々な学校や企業の皆様からの御意見などをいただくと幸いです。

☆【2】令和3年度会報電子版について ☆

この電子版は紙面版と異なりニュース性ある情報等を発信し、会員相互の情報共有に役立てられればと、今年度の半ばから発信を続けてきました。

コロナ禍でも、会員同士の交流が図れればとの思いでスタートしましたが、不定期の発行ということもあり、なんとか令和3年度への接続ができたと考えております。

令和3年度は、これまでの経験をもとに月2回程度の発信、可能ならば定期的な発行を目指し、会員情報の交流を充実させたいと考えております。

そのためには、会員の皆様から今年度に増して、産業教育にかかわる生徒の活躍や、学習の様子など、積極的に情報提供をお願いしたいと考えております。

また、産業界会員の皆様にも専門高校、専修学校卒業生が活躍している姿の紹介などお願いできましたら、産学の情報の交流が一層厚みを増すのではないかと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

コロナ禍で急速に進んだ情報共有の新しいかたちに都産振会報電子版が少しでも関わればと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会会員やその他産業教育に携わる皆様の役に立つよう、全文の転送を前提として共有していただいてもかまいません。

また、この電子版を直接受信していない会員の方で、電子版の送信を希望される方がいらっしゃれば、事務局まで御連絡ください。



東京都産業教育振興会 事務局

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247

FAX 03-5388-1727

E-mail : Osamu_Namiki@member.metro.tokyo.jp
